

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.6

3-3 落札者決定基準

(1) 評価項目・評価基準

工事の内容に応じて、当該工事の品質を確保するうえで必要な評価項目(表-1)や評価基準(表-2、3)を選択し落札者決定基準を定めます。

表-1 評価項目・配点

評価項目	評価項目詳細	特別簡易型		簡易型	標準型	高度技術提案型		
		実績育成タイプ						
施工計画 (簡易型)	工程管理に係る技術的所見	/	/	24 ◎ 工事毎に2~3項目を設定	/	/		
	材料の品質管理に係る技術的所見							
	施工上の課題に係る技術的所見							
	施工上配慮すべき事項							
	安全管理に留意すべき事項							
	その他(必須項目)							
	その他(必須項目)							
企業の施工能力	同種工事の施工実績	3	◎	3	◎	3	◎	
	工事成績評定点の実績	8	◎	0	◎	8	◎	
	事故及び不誠実な行為	指名停止月数×-1	◎	指名停止月数×-1	◎	指名停止月数×-1	◎	
	若手技術者の配置	配置予定技術者の満年齢		1	◎	/	/	
	配置予定技術者の施工経験	主任(監理)技術者又は現場代理人としての過去15年間における同種工事の施工経験	3	◎	3	◎	3	◎
	配置予定技術者の工事成績評定点の実績	過去4ヵ年度間の同一業種工事での工事成績評定点の平均点	2	○	0	◎	2	○
	配置予定技術者の資格等	配置予定技術者の所持資格 過去1ヵ年度間のCPD(S)制度の取得実績	2	◎	2	◎	2	◎
	安全活動への取組状況	過去5年間における安全に関する講習の受講実績又は建設業労働安全衛生マネジメントシステムの取組実績	1	◎	1	◎	1	◎
	低価格入札状況	過去1年間における低入札調査対象工事の不良工事実績	0~-10	◎	0~-10	◎	0~-10	◎
	契約後VE方式の実績	過去1ヵ年度間の契約後VE方式による技術提案の実績	5	◎	/	/	5	◎
企業の社会性・信頼性	一次下請の市内業者活用状況	1	◎	/	/	1	◎	
	品質確保への取組状況	入札公告年度の4月1日時点のISO9001・ISO14001の取得状況及び災害時事業継続計画の策定状況	2	○	2	◎	2	○
	労働災害防止への取組状況	入札公告年度の被災防加入状況	1	◎	1	◎	1	◎
	災害等協力者名簿の登載	入札公告年度の4月1日時点の千葉県災害等協力者名簿登載の有無	2	○	2	◎	2	○
	災害活動・ボランティア活動の実績	過去1ヵ年度間の災害活動・ボランティア活動の実績	5	○	5	◎	5	○

改正後

P.6

3-3 落札者決定基準

(1) 評価項目・評価基準

工事の内容に応じて、当該工事の品質を確保するうえで必要な評価項目(表-1)や評価基準(表-2、3)を選択し落札者決定基準を定めます。

表-1 評価項目・配点

評価項目	評価項目詳細	特別簡易型				簡易型	標準型	高度技術提案型
		実績育成タイプ		◎ 工事毎に2~3項目を設定				
施工計画 (簡易型)	工程管理に係る技術的所見	/	/	/	/	/	/	
	材料の品質管理に係る技術的所見							
	施工上の課題に係る技術的所見							
	施工上配慮すべき事項							
	安全管理に留意すべき事項							
	その他(必須項目)							
企業の施工能力	同種工事の施工実績	3	◎	/	/	3	◎	
	工事成績評定点の実績	8	◎	0	◎	8	◎	
	事故及び不誠実な行為	指名停止月数×-1	◎	指名停止月数×-1	◎	指名停止月数×-1	◎	
	若手技術者の配置	配置予定技術者の満年齢		1	◎	/	/	
	配置予定技術者の施工経験	主任(監理)技術者又は現場代理人としての過去15年間における同種工事の施工経験	3	◎	/	/	3	◎
	配置予定技術者の工事成績評定点の実績	過去4ヵ年度間の同一業種工事での工事成績評定点の平均点	2	○	0	◎	2	○
	配置予定技術者の資格等	配置予定技術者の所持資格 過去1ヵ年度間のCPD(S)制度の取得実績	2	◎	2	◎	2	◎
	安全活動への取組状況	過去5年間における安全に関する講習の受講実績又は建設業労働安全衛生マネジメントシステムの取組実績	1	◎	1	◎	1	◎
	低価格入札状況	過去1年間における低入札調査対象工事の不良工事実績	0~-10	◎	0~-10	◎	0~-10	◎
	契約後VE方式の実績	過去1ヵ年度間の契約後VE方式による技術提案の実績	5	◎	/	/	5	◎
	ICT活用工事等の取組状況	本工事におけるICT活用工事等の取組状況	3	○	3	○	3	○
	企業の社会性・信頼性	一次下請の市内業者活用状況	1	◎	/	/	1	◎
		品質確保への取組状況	入札公告年度の4月1日時点のISO9001・ISO14001・エコアクション21の取得状況及び災害時事業継続計画の策定状況	2	○	2	◎	2
労働災害防止への取組状況		入札公告年度の被災防加入状況	1	◎	1	◎	1	◎
災害等協力者名簿の登載		入札公告年度の4月1日時点の千葉県災害等協力者名簿登載の有無	2	○	2	◎	2	○
災害活動・ボランティア活動の実績		過去1ヵ年度間の災害活動・ボランティア活動の実績	5	○	5	◎	5	○

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.7

表-1 評価項目・配点

評価項目	評価項目詳細	特別簡易型		簡易型	標準型	高度技術提案型		
		実績育成タイプ						
企業の技術力	技術提案 【総合的なコスト削減に関する事項】	ライフサイクルコスト	/	/	30 ~ 50 工事内容により適宜設定	◎ 工事内容により選択	30 ~ 50 工事内容により適宜設定	◎ 工事内容により選択
		その他のコスト						
	技術提案 【工事目的物の性能、機能の向上に関する事項】	工事目的物の性能、機能						
		環境の維持						
	技術提案 【社会的要請への対応に関する事項】	交通の確保						
		特別な安全対策						
		省資源対策						
	リサイクル対策							
技術提案に係る施工計画	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画	/	/	/	◎		◎	
評価点の満点		24~35	14	48~59	54~85		30~50	

◎ 必須項目 ○ 選択項目（必要に応じて選択する。）

改正後

P.7

表-1 評価項目・配点

評価項目	評価項目詳細	特別簡易型		簡易型	標準型	高度技術提案型		
		実績育成タイプ						
企業の技術力	技術提案 【総合的なコスト削減に関する事項】	ライフサイクルコスト	/	/	30 ~ 50 工事内容により適宜設定	◎ 工事内容により選択	30 ~ 50 工事内容により適宜設定	◎ 工事内容により選択
		その他のコスト						
	技術提案 【工事目的物の性能、機能の向上に関する事項】	工事目的物の性能、機能						
		環境の維持						
	技術提案 【社会的要請への対応に関する事項】	交通の確保						
		特別な安全対策						
		省資源対策						
	リサイクル対策							
技術提案に係る施工計画	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画	/	/	/	◎		◎	
評価点の満点		24~38	14~17	48~62	54~88		30~50	

◎ 必須項目 ○ 選択項目（必要に応じて選択する。）

千葉市総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.10

表-2 評価基準

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準	配点	様式	記入方法	添付資料			
企業の施工能力	契約後VE方式の実績	過去1カ年度間の契約後VE方式による技術	過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が10%以上である。	5	別記様式第8号	過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%以上となる実績がある場合に記入して下さい。	VE提案実績通知書の写し			
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が7%以上10%未満である。	4							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が5%以上7%未満である。	3							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が3%以上5%未満である。	2							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%以上3%未満である。	1							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%未満又は実績なし	0							
		一次下請の市内業者活用状況	一次下請における業者活用状況	本工事の一次下請に市内業者を使用する、もしくは下請けせずに自社施工する。				1	別記様式第9号	本工事の一次下請に市内業者を使用する場合又は、下請けせずに自社施工する場合に記入して下さい。
0	本工事の一次下請に市内業者を使用しない。									
企業の社会的・信頼性	品質確保への取組状況	ISO9001かつISO14001の両方を千葉市内の事業所を含む範囲で登録している、災害時事業継続計画（拡充編）を策定している、又はISO9001若しくはISO14001のどちらかを千葉市内の事業所を含む範囲で登録しており、かつ災害時事業継続計画（基本編）を策定している。	2	別記様式第10号	入札公告年度の4月1日時点で有効なISO9001若しくはISO14001を千葉市内の事業所を含む範囲で登録している場合、又は本市にて災害時事業継続計画の認定を受けている場合に記入して下さい。	ISO登録証の写し（千葉市内の事業所を含むことが確認できる資料を添付して下さい。） 、災害時事業継続計画の認定通知書の写し				
		ISO9001若しくはISO14001のどちらかを千葉市内の事業所を含む範囲で登録している、又は災害時事業継続計画（基本編）を策定している。	1							
		登録なし	0							
		労働災害防止への取組状況	建入札公告年度において、建設業労働災害防止協会（建災防）に加入している。				1	別記様式第11号	入札公告年度において建災防に加入している場合に記入して下さい。	加入証明書の写し
		0	加入なし							
災害等協力者名簿の掲載	入札公告年度の4月1日時点の千葉市災害等協力者名簿等に掲載がある。	2	別記様式第12号	入札公告年度の4月1日時点における千葉市災害等協力者名簿等の掲載の有無	なし					
0	千葉市災害等協力者名簿等に掲載がない。									
災害活動・ボランティア活動の実績	過去1カ年度間のボランティア活動の実績を有している。	5~0	別記様式第13号	過去1カ年度間に本市において、災害活動又はボランティア活動の実績がある場合に記入して下さい。（5つまで記入することができます。）	出勤証明書の写しもしくは活動を確認する書類					

改正後

P.10

表-2 評価基準

評価分類	評価項目	評価細目	評価基準	配点	様式	記入方法	添付資料			
企業の施工能力	契約後VE方式の実績	過去1カ年度間の契約後VE方式による技術	過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が10%以上である。	5	別記様式第8号	過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%以上となる実績がある場合に記入して下さい。	VE提案実績通知書の写し			
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が7%以上10%未満である。	4							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が5%以上7%未満である。	3							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が3%以上5%未満である。	2							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%以上3%未満である。	1							
		過去1カ年度間に完成した本工事と同一業種の本市発注工事において、契約後VE方式の提案による請負金額の低減率が1%未満又は実績なし	0							
		ICT活用工事等の取組状況	ICT活用工事等の取組状況	ICT活用工事を実施する。				3	別記様式第16号	本工事において、ICT活用工事又は情報化施工を実施する場合に記入して下さい。
情報化施工を実施する。	2									
いずれも実施しない。	0									
企業の社会的・信頼性	品質確保への取組状況	ISO9001かつISO14001の両方を千葉市内の事業所を含む範囲で登録している、災害時事業継続計画（拡充編）を策定している、又はISO9001若しくはISO14001のどちらかを千葉市内の事業所を含む範囲で登録しており、かつ災害時事業継続計画（基本編）を策定している。	2	別記様式第10号	入札公告年度の4月1日時点で有効なISO9001若しくはISO14001を千葉市内の事業所を含む範囲で登録している場合、又は本市にて災害時事業継続計画の認定を受けている場合に記入して下さい。	ISO等登録証の写し（千葉市内の事業所を含むことが確認できる資料を添付して下さい。） 、災害時事業継続計画の認定通知書の写し				
		ISO9001若しくはISO14001のどちらかを千葉市内の事業所を含む範囲で登録している、又は災害時事業継続計画（基本編）を策定している。	1							
		登録なし	0							
		労働災害防止への取組状況	建入札公告年度において、建設業労働災害防止協会（建災防）に加入している。				1	別記様式第11号	入札公告年度において建災防に加入している場合に記入して下さい。	加入証明書の写し
		0	加入なし							
災害等協力者名簿の掲載	入札公告年度の4月1日時点の千葉市災害等協力者名簿等に掲載がある。	2	別記様式第12号	入札公告年度の4月1日時点における千葉市災害等協力者名簿等の掲載の有無	なし					
0	千葉市災害等協力者名簿等に掲載がない。									
災害活動・ボランティア活動の実績	過去1カ年度間のボランティア活動の実績を有している。	5~0	別記様式第13号	過去1カ年度間に本市において、災害活動又はボランティア活動の実績がある場合に記入して下さい。（5つまで記入することができます。）	出勤証明書の写しもしくは活動を確認する書類					

千葉市総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.24

(5) 建設共同企業体における評価方法

建設共同企業体の場合、評価項目ごとの評価方法は、下表によることを原則とします。

評価分類	評価項目	評価項目詳細	提出方法	評価方法	具体的な評価方法
施工計画 (簡易型)		工程管理に係る技術的所見	共同企業体が提出	共同企業体として評価	/
		材料の品質管理に係る技術的所見			
		施工上の課題に係る技術的所見			
		施工上配慮すべき事項			
		安全管理に留意すべき事項			
企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去15年間の同種工事の施工実績	代表構成員が提出	共同企業体として評価	/
	工事成績評定点の実績	過去4か年度間の同一業種工事での工事成績評定の平均点	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	事故及び不誠実な行為	過去2年間の指名停止措置の有無	/	構成員のうち1社でも該当する場合、按分せず減点	
	配置予定技術者の施工経験	主任(監理)技術者又は現場代理人としての過去15年間に於ける同種工事の施工経験	代表構成員が提出	共同企業体として評価	
	配置予定技術者の工事成績評定点の実績	過去4か年度間の同一業種工事での工事成績評定の平均点	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	配置予定技術者の資格等	配置予定技術者の所持資格 過去1か年度間のCPD(S)制度の取得実績	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	安全活動への取組状況	過去5年間における安全に関する講習の受講実績又は建設業労働安全衛生マネジメントシステムの取組実績			
	低価格入札状況	過去1年間の低入札調査対象工事での不良工事実績	/	構成員のうち1社でも該当する場合、按分せず減点	
	契約後VE方式の実績	過去1か年度間の契約後VE方式による技術提案の実績	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	企業の社会性・信頼性	一次下請の市内業者活用状況	本工事における一次下請の市内業者活用状況	共同企業体が提出	
品質確保への取組状況		入札公告年度の4月1日時点のISO9001・ISO14001の取得状況及び災害時事業継続計画の策定状況	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
労働災害防止への取組状況		入札公告年度の被災防加入状況			
災害等協力者名簿の登載		入札公告年度の4月1日時点の千葉市災害等協力業者名簿登載の有無			
災害活動・ボランティア活動の実績		過去1か年度間の災害活動・ボランティア活動の実績			
企業の技術力 (標準型)	技術提案【総合的なコストの削減に関する事項】	ライフサイクルコスト			共同企業体が提出
		その他のコスト			
	技術提案【工事的物性の性能、機能の向上に関する事項】	工事的物性の性能、機能			
		環境の維持			
	技術提案【社会的要請への対応に関する事項】	交通の確保			
		特別な安全対策			
		省資源対策			
技術提案に係る施工計画 (標準型)	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画			

【按分の例】
代表者A(出資比率60%)
構成員B(出資比率40%)
において
Aの評価点10
Bの評価点7の場合
10×0.6+7×0.4=8.8
(少数点以下2位切捨)

※「事故及び不誠実な行為」「低価格入札状況」は按分しない。

改正後

P.24

(5) 建設共同企業体における評価方法

建設共同企業体の場合、評価項目ごとの評価方法は、下表によることを原則とします。

評価分類	評価項目	評価項目詳細	提出方法	評価方法	具体的な評価方法
施工計画 (簡易型)		工程管理に係る技術的所見	共同企業体が提出	共同企業体として評価	/
		材料の品質管理に係る技術的所見			
		施工上の課題に係る技術的所見			
		施工上配慮すべき事項			
		安全管理に留意すべき事項			
企業の施工能力	同種工事の施工実績	過去15年間の同種工事の施工実績	代表構成員が提出	共同企業体として評価	/
	工事成績評定点の実績	過去4か年度間の同一業種工事での工事成績評定の平均点	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	事故及び不誠実な行為	過去2年間の指名停止措置の有無	/	構成員のうち1社でも該当する場合、按分せず減点	
	配置予定技術者の施工経験	主任(監理)技術者又は現場代理人としての過去15年間に於ける同種工事の施工経験	代表構成員が提出	共同企業体として評価	
	配置予定技術者の工事成績評定点の実績	過去4か年度間の同一業種工事での工事成績評定の平均点	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	配置予定技術者の資格等	配置予定技術者の所持資格 過去1か年度間のCPD(S)制度の取得実績	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	安全活動への取組状況	過去5年間における安全に関する講習の受講実績又は建設業労働安全衛生マネジメントシステムの取組実績			
	低価格入札状況	過去1年間の低入札調査対象工事での不良工事実績	/	構成員のうち1社でも該当する場合、按分せず減点	
	契約後VE方式の実績	過去1か年度間の契約後VE方式による技術提案の実績	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	ICT活用工事等の取組状況	本工事におけるICT活用工事等の取組状況	共同企業体が提出	共同企業体として評価	
企業の社会性・信頼性	一次下請の市内業者活用状況	本工事における一次下請の市内業者活用状況	共同企業体が提出	共同企業体として評価	/
	品質確保への取組状況	入札公告年度の4月1日時点のISO9001・ISO14001・エコアクション21の取得状況及び災害時事業継続計画の策定状況	構成員ごとに提出	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	
	労働災害防止への取組状況	入札公告年度の被災防加入状況			
	災害等協力者名簿の登載	入札公告年度の4月1日時点の千葉市災害等協力業者名簿登載の有無			
	災害活動・ボランティア活動の実績	過去1か年度間の災害活動・ボランティア活動の実績			
企業の技術力 (標準型)	技術提案【総合的なコストの削減に関する事項】	ライフサイクルコスト			共同企業体が提出
		その他のコスト			
	技術提案【工事的物性の性能、機能の向上に関する事項】	工事的物性の性能、機能			
		環境の維持			
	技術提案【社会的要請への対応に関する事項】	交通の確保			
		特別な安全対策			
		省資源対策			
技術提案に係る施工計画 (標準型)	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画	技術提案の実現性、有効性を確認するための施工計画			

【按分の例】
代表者A(出資比率60%)
構成員B(出資比率40%)
において
Aの評価点10
Bの評価点7の場合
10×0.6+7×0.4=8.8
(少数点以下2位切捨)

※「事故及び不誠実な行為」「低価格入札状況」は按分しない。

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.29

3-14 技術提案等の作成方法及び作成上の留意点

技術提案等の作成方法及び作成上の留意点を評価項目（別記様式）ごとにまとめております。
また、欠格や書類不備となる事例についても記載しておりますので、技術提案等の作成にあたりましては十分に参照くださるようお願いします。

- ・別記様式第1号 【技術提案等提出書】・・・・・・・・・・ P. 30・31
- ・別記様式第1号の2 【配置予定技術者】・・・・・・・・・・ P. 32・33
- ・別記様式第2号 【施工計画】・・・・・・・・・・ P. 34・35
- ・別記様式第3号 【同種工事の施工実績】・・・・・・・・・・ P. 36・37
- ・別記様式第4号 【工事成績評定点の実績】・・・・・・・・・・ P. 38・39
- ・別記様式第5号 【配置予定技術者の施工経験】・・・・・・・・・・ P. 40・41
- ・別記様式第5号の2 【配置予定技術者の工事成績評定点の実績】・・ P. 42・43
- ・別記様式第6号 【配置予定技術者の資格等】・・・・・・・・・・ P. 44・45
- ・別記様式第7号 【安全活動への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 46・47
- ・別記様式第8号 【契約後VE方式の実績】・・・・・・・・・・ P. 48・49
- ・別記様式第9号 【一次下請の市内業者活用状況】・・・・・・・・・・ P. 50・51
- ・別記様式第10号 【品質確保への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 52・53
- ・別記様式第11号 【労働災害防止への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 54・55
- ・別記様式第12号 【災害等協力者名簿の登載】・・・・・・・・・・ P. 56・57
- ・別記様式第13号 【災害活動・ボランティア活動の実績】・・・・ P. 58・59
- ・別記様式第14号 【技術提案】・・・・・・・・・・ P. 60・61
- ・別記様式第15号 【技術提案に係る施工計画】・・・・・・・・・・ P. 62・63

改正後

P.29

3-14 技術提案等の作成方法及び作成上の留意点

技術提案等の作成方法及び作成上の留意点を評価項目（別記様式）ごとにまとめております。
また、欠格や書類不備となる事例についても記載しておりますので、技術提案等の作成にあたりましては十分に参照くださるようお願いします。

- ・別記様式第1号 【技術提案等提出書】・・・・・・・・・・ P. 30・31
- ・別記様式第1号の2 【配置予定技術者】・・・・・・・・・・ P. 32・33
- ・別記様式第2号 【施工計画】・・・・・・・・・・ P. 34・35
- ・別記様式第3号 【同種工事の施工実績】・・・・・・・・・・ P. 36・37
- ・別記様式第4号 【工事成績評定点の実績】・・・・・・・・・・ P. 38・39
- ・別記様式第5号 【配置予定技術者の施工経験】・・・・・・・・・・ P. 40・41
- ・別記様式第5号の2 【配置予定技術者の工事成績評定点の実績】・・ P. 42・43
- ・別記様式第6号 【配置予定技術者の資格等】・・・・・・・・・・ P. 44・45
- ・別記様式第7号 【安全活動への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 46・47
- ・別記様式第8号 【契約後VE方式の実績】・・・・・・・・・・ P. 48・49
- ・別記様式第9号 【一次下請の市内業者活用状況】・・・・・・・・・・ P. 50・51
- ・別記様式第10号 【品質確保への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 52・53
- ・別記様式第11号 【労働災害防止への取組状況】・・・・・・・・・・ P. 54・55
- ・別記様式第12号 【災害等協力者名簿の登載】・・・・・・・・・・ P. 56・57
- ・別記様式第13号 【災害活動・ボランティア活動の実績】・・・・ P. 58・59
- ・別記様式第14号 【技術提案】・・・・・・・・・・ P. 60・61
- ・別記様式第15号 【技術提案に係る施工計画】・・・・・・・・・・ P. 62・63
- ・別記様式第16号 【ICT活用工事等の取組状況】・・・・・・・・ P. 64・65

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.30

記入例

別記様式第1号

メールでの提出の場合は、送信後、工事担当課へ確認の電話連絡をお願いします。

平成28年 6月××日

千葉市長 熊谷俊人様

単独施工の場合は、何も書かないで下さい。

(※単独施工の場合は、記入不要。)

建設共同企業体名

(※建設共同企業体による共同施工の場合は、代表構成員が記入すること。)

所在地 千葉市中央区千葉港1番1号
商号又は名称 千葉建設株式会社
代表者職氏名 千葉 太郎

技術提案等提出書

下記工事の実施要領書に基づき、技術提案等資料を提出します。
なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

工事名 千葉市役所前〇〇〇工事(28-1工区)

連絡先

担当者名 千葉 太郎
電話番号 043-245-XXXX
FAX番号 043-245-XXXX
E-mail XXXXX@city.chiba.jp

(注)

- 単独施工の場合、建設共同企業体名の欄は未記入とすること。
- 建設共同企業体による共同施工の場合、本書に建設共同企業体協定書の写しを必ず添付すること。
- 「基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に基礎点制度実績通知書の写しを添付すること。その場合、基礎点制度の対象となる評価項目「工事成績評定点の実績」、「契約後VE方式の実績」、「品質確保への取組状況」、「労働災害防止への取組状況」、「災害等協力者名簿の登載」及び「災害活動・ボランティア活動の実績」に関する別記様式並びに添付資料は一切提出不要とする。
- 「基礎点制度実績通知書」の対象業種は、土木、舗装、建築、電気、管、造園、とび土工及び機械器具とする。「鋼構造物」等対象業種でない業種の場合は、当該通知書は適用できない。
- 「技術者基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に技術者基礎点制度実績通知書の写しを添付すること。その場合、技術者基礎点制度の対象となる評価項目「配置予定技術者の工事成績評定点の実績」、「配置予定技術者の所持資格」、「配置予定技術者のCPD(S)制度における単位取得実績」、「安全活動への取組状況」に関する別記様式並びに添付資料は一切提出不要です。
- 「基礎点制度実績通知書」及び「技術者基礎点制度実績通知書」の適用は、実績通知書に記載の入札公告期間内の案件に限る。
- 代表者印を押印する必要はないが、不正があった場合、千葉市は責任を負えない。

(用紙 A4)

改正後

P.30

記入例

別記様式第1号

メールでの提出の場合は、送信後、工事担当課へ確認の電話連絡をお願いします。

単独施工の場合は、何も書かないで下さい。

平成29年 6月××日

(あて先) 千葉市長 熊谷俊人

(※単独施工の場合は、記入不要。)

建設共同企業体名

(※建設共同企業体による共同施工の場合は、代表構成員が記入すること。)

所在地 千葉市中央区千葉港1番1号
商号又は名称 千葉建設株式会社
代表者職氏名 千葉 太郎

技術提案等提出書

下記工事の実施要領書に基づき、技術提案等資料を提出します。
なお、資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。

工事名	千葉市役所前〇〇〇工事(29-1工区)		
担当者名	〇〇 〇〇		
電話番号	043-245-〇〇〇〇	FAX番号	043-245-〇〇〇〇
E-mail	XXX@〇〇.jp	施工計画については、点数の記載は不要です。	

評価項目	自己評価点	評価項目	自己評価点
施工計画		低価格入札状況	0
同種工事の施工実績	3	契約後VE方式の実績	0
工事成績評定点の実績	8	ICT活用工事等の取組状況	2
事故及び不誠実な行為	0	一次下請の市内業者活用状況	0
若手技術者の配置	-	品質確保への取組状況	2
配置予定技術者の施工経験	0	労働災害防止への取組状況	1
配置予定技術者の工事成績評定点の実績	1.5	災害協力者名簿の登載	2
配置予定技術者の資格等	0	災害活動・ボランティア活動の実績	5
安全活動への取組状況	1	合計	25.5

(注)

- 単独施工の場合、建設共同企業体名の欄は未記入とすること。
- 建設共同企業体による共同施工の場合、本書に建設共同企業体協定書の写しを必ず添付すること。
- 「基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に基礎点制度実績通知書の写しを添付すること。その場合、基礎点制度の対象となる評価項目「工事成績評定点の実績」、「契約後VE方式の実績」、「品質確保への取組状況」、「労働災害防止への取組状況」、「災害等協力者名簿の登載」及び「災害活動・ボランティア活動の実績」に関する別記様式並びに添付資料は一切提出不要とする。
- 「基礎点制度実績通知書」の対象業種は、土木、建築、とび土工、電気、管、舗装、塗装、機械器具及び造園とする。「鋼構造物」等対象業種でない業種の場合は、当該通知書は適用できない。
- 「技術者基礎点制度実績通知書」の交付を受けた方は、本書に技術者基礎点制度実績通知書の写しを添付すること。その場合、技術者基礎点制度の対象となる評価項目「配置予定技術者の工事成績評定点の実績」、「配置予定技術者の所持資格」、「配置予定技術者のCPD(S)制度における単位取得実績」、「安全活動への取組状況」に関する別記様式並びに添付資料は一切提出不要です。
- 「基礎点制度実績通知書」及び「技術者基礎点制度実績通知書」の適用は、実績通知書に記載の入札公告期間内の案件に限る。
- 代表者印を押印する必要はないが、不正があった場合、千葉市は責任を負えない。

自己評価点欄は、当該工事の実施要領書に定められた評価項目における、貴社の点数を記入してください。定められてない評価項目については、"- "を記入してください。

(用紙 A4)

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.34

別記様式第2号【施工計画】

＜作成上の留意点＞

- 本書は、簡易型の場合に使用します。
- 建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は建設共同企業体名を記入してください。
- 「具体的な施工計画」の欄に記入する文字のフォントはMS明朝、大きさは11ポイントとし、全ての文字を全角で記入してください（単位等で半角となる場合は、書類不備とはしません。）
また、強調部に限り、MSゴシックを使用できますが、下線の使用はできません。
- 提出可能な枚数の上限は、実施要領書に定めております。
「枚数が4枚まで」と定められており、3枚提出する場合は、下記のとおりページ番号を記入してください。
(例. 1枚目：1／3 2枚目：2／3 3枚目：3／3)
- 「具体的な施工計画」の欄は、実施要領書に定める「具体的な提案内容」を記載し、次行に「詳細内容」を記載し、さらに次行から文書を記入して下さい。
- 落札者決定基準において、複数の施工計画を求めることがあります。その場合はページを異にする必要はありません。連続して記載してください。
- 提案は、実施要領書に記載されている評価項目数の合計の2倍までしかできません。
なお、各項目の上限は定めません。記載できる項目数以内で記載してください。
- 提案の記載方法は簡条書きとし、簡条書きされた項目ごとに評価します。よって、一つの項目で二つの評価ができるような場合においても評価ポイントは、1ポイントとなります。

評価する場合の例

- 1) ○○を実施します。
- 2) △△を実施し、かつ、□□も実施します。 > どちらも評価は1ポイントとなります。
(△△と□□を両方実施してはじめて評価できる内容の場合)

評価しない場合の例

- 1) ××を実施し、かつ、◎◎も実施します。
(××と◎◎が個別には評価できる内容であっても、相互に関連性のない場合)

○実施要領書で定める詳細内容及びその評価する項目数以上に当該工事において有意性のある提案があった場合は、「その他」として評価します。設定されている評価項目を含めて記載できる項目数以内で記載してください。ただし、周辺住民への周知対策、安全対策、騒音・振動対策などの提案は、「その他」の評価対象となりませんのでご注意ください。

なお、記載箇所は、特に指定しません。規定された枚数に収まるように記載してください。

＜書類不備となる主な事例＞ ※書類不備となる事例はこの限りではありません。

- 記入すべき事項が未記入若しくは誤記である、又は提出枚数が指定枚数を超えている。
- 共通仕様書、施工管理基準及び特記仕様書等において千葉市が定める基準を満たしていない。
- 「具体的な施工計画」の文書が定められたフォント又は大きさではない。
- 建設共同企業体名で提出となっているにも関わらず、建設共同企業体名となっていない、又は構成員ごとに本書が提出されている。
- 実施要領書に定める項目数の2倍を超えて技術提案をしている。

＜欠格となる主な事例＞ ※欠格となる事例はこの限りではありません。

- 本書が未提出である。
- 明らかに異なる提案がされている場合

改正後

P.34

別記様式第2号【施工計画】

＜作成上の留意点＞

- 本書は、簡易型の場合に使用します。
- 建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は建設共同企業体名を記入してください。
- 「具体的な施工計画」の欄に記入する文字のフォントはMS明朝、大きさは11ポイントとし、~~全ての文字を全角で記入してください（単位等で半角となる場合は、書類不備とはしません。）~~ **全ての文字を全角で記入してください（単位等で半角となる場合は、書類不備とはしません。）** ~~てください。~~
- また、強調部に限り、MSゴシックを使用できますが、下線の使用はできません。
- 提出可能な枚数の上限は、実施要領書に定めております。
「枚数が4枚まで」と定められており、3枚提出する場合は、下記のとおりページ番号を記入してください。
(例. 1枚目：1／3 2枚目：2／3 3枚目：3／3)
- 「具体的な施工計画」の欄は、実施要領書に定める「具体的な提案内容」を記載し、次行に「詳細内容」を記載し、さらに次行から文書を記入して下さい。
- 落札者決定基準において、複数の施工計画を求めることがあります。その場合はページを異にする必要はありません。連続して記載してください。
- 提案は、実施要領書に記載されている評価項目数の合計の2倍までしかできません。
なお、各項目の上限は定めません。記載できる項目数以内で記載してください。
- 提案の記載方法は簡条書きとし、簡条書きされた項目ごとに評価します。よって、一つの項目で二つの評価ができるような場合においても評価ポイントは、1ポイントとなります。

評価する場合の例

- 1) ○○を実施します。
- 2) △△を実施し、かつ、□□も実施します。 > どちらも評価は1ポイントとなります。
(△△と□□を両方実施してはじめて評価できる内容の場合)

評価しない場合の例

- 1) ××を実施し、かつ、◎◎も実施します。
(××と◎◎が個別には評価できる内容であっても、相互に関連性のない場合)

○実施要領書で定める詳細内容及びその評価する項目数以上に当該工事において有意性のある提案があった場合は、「その他」として評価します。設定されている評価項目を含めて記載できる項目数以内で記載してください。ただし、周辺住民への周知対策、安全対策、騒音・振動対策などの提案は、「その他」の評価対象となりませんのでご注意ください。

なお、記載箇所は、特に指定しません。規定された枚数に収まるように記載してください。

＜書類不備となる主な事例＞ ※書類不備となる事例はこの限りではありません。

- 記入すべき事項が未記入若しくは誤記である、又は提出枚数が指定枚数を超えている。
- 共通仕様書、施工管理基準及び特記仕様書等において千葉市が定める基準を満たしていない。
- 「具体的な施工計画」の文書が定められたフォント又は大きさではない。
- 建設共同企業体名で提出となっているにも関わらず、建設共同企業体名となっていない、又は構成員ごとに本書が提出されている。
- 実施要領書に定める項目数の2倍を超えて技術提案をしている。

＜欠格となる主な事例＞ ※欠格となる事例はこの限りではありません。

- 本書が未提出である。
- 明らかに異なる提案がされている場合

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.52

記入例

別記様式第10号

品質確保への取組状況

工 事 名 千葉県役所前〇〇〇工事 (28-1工区)

商号又は名称 千葉建設株式会社

ISO9001・ISO14001の 取得状況 及び 災害時事業継続計画 の策定状況	当社は、千葉市内の事業所を含む範囲で <input type="checkbox"/> ISO9001とISO14001の両方 <input type="checkbox"/> ISO9001 <input checked="" type="checkbox"/> ISO14001 に登録している。 ※該当する箇所を■に塗りつぶすこと。
	当社は、災害時事業継続計画の <input type="checkbox"/> 基本編 <input type="checkbox"/> 拡充編 を策定している。

該当する箇所を■に塗りつぶしてください。

添付資料	登録証明証等の写し
------	-----------

(注)

- 1 入札公告年度の4月1日時点において、ISO9001若しくはISO14001に登録している者、又は災害時事業継続計画の基本編若しくは拡充編を策定している者は該当する箇所を■に塗りつぶすこと。
- 2 ISOについては、登録していることが確認できる登録証明証等の写しを添付すること。
 なお、市内業者でない者は、千葉市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる資料を添付すること。(添付資料により千葉市内の事業所が含まれていることが確認できなければ評価しない。)
- 3 災害時事業継続計画については、本市での事前審査による認定を受けていること。その場合は認定証の写しを添付すること。
- 4 登録がない場合、又は策定していない場合は、本書の提出を要しない。

(用紙 A4)

改正後

P.52

記入例

別記様式第10号

品質確保への取組状況

工 事 名 千葉県役所前〇〇〇工事 (29-1工区)

商号又は名称 千葉建設株式会社

ISO9001・ ISO14001・ エコアクション21 の取得状況 及び 災害時事業継続計画 の策定状況	当社は、千葉市内の事業所を含む範囲で <input type="checkbox"/> ISO9001とISO14001の両方 <input checked="" type="checkbox"/> ISO9001とエコアクション21の両方 <input type="checkbox"/> ISO9001 <input checked="" type="checkbox"/> ISO14001 <input type="checkbox"/> エコアクション21 に登録している。 ※該当する箇所を■に塗りつぶすこと。
	当社は、災害時事業継続計画の <input type="checkbox"/> 基本編 <input type="checkbox"/> 拡充編 を策定している。

該当する箇所を■に塗りつぶしてください。

添付資料	登録証明証等の写し
------	-----------

(注)

- 1 入札公告年度の4月1日時点において、ISO9001若しくは、ISO14001、エコアクション21、に登録している者、又は災害時事業継続計画の基本編若しくは、拡充編を登録又は策定している者は該当する箇所を■に塗りつぶすこと。ISO14001及びエコアクション21については、いずれかのみを評価の対象とする。
- 2 ISO及びエコアクション21については、登録していることが確認できる登録証明証等の写しを添付すること。
 なお、市内業者でない者は、千葉市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる資料を添付すること。(添付資料により千葉市内の事業所が含まれていることが確認できなければ評価しない。)
- 3 災害時事業継続計画については、本市での事前審査による認定を受けていること。その場合は認定証の写しを添付すること。
- 4 登録がない場合、又は策定していない場合は、本書の提出を要しない。

(用紙 A4)

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.53

別記様式第10号【品質確保への取組状況】

<作成上の留意点>

- 入札公告年度の4月1日時点において、ISO9001又はISO14001に登録している場合、又は災害時事業継続計画の基本編若しくは拡充編を策定している場合は、該当する箇所を■に塗りつぶしてください。
- ISOに登録していることが確認できる登録証明証等の写しを添付してください。
なお、市内業者でない場合は、千葉市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる資料を添付してください。(添付資料により千葉市内の事業所が含まれていることが確認できなければ評価しません。)
- 災害時事業継続計画については、本市での事前審査による認定を受ける必要があります。その場合は認定証の写しを添付してください。
- 建設共同企業体による共同施工の場合は、構成員ごとに本書を提出してください。
- 基礎点制度実績通知書の交付を受けた場合は、技術提案等提出書(別記様式第1号)に基礎点制度実績通知書の写しを添付することにより、本書の提出は不要です。
- 実績がない場合は、本書の提出は不要です。

<書類不備となる主な事例> ※書類不備となる事例はこの限りではありません。

- 記入すべき事項が未記入又は誤記である。
- 添付資料がない。又は、添付資料により評価基準を満たしていることが確認できない。
- 基礎点制度実績通知書の写しが添付されているにもかかわらず、本書が提出されている。

改正後

P.53

別記様式第10号【品質確保への取組状況】

<作成上の留意点>

- 入札公告年度の4月1日時点において、ISO9001又は、ISO14001、**エコアクション21に登録している場合、又は災害時事業継続計画の基本編若しくは、拡充編を登録又は策定している場合は該当する箇所を■に塗りつぶしてください。**
ISO14001及びエコアクション21については、いずれかのみを評価します。
- ISO若しくは**エコアクション21**に登録していることが確認できる登録証明証等の写しを添付してください。
なお、市内業者でない場合は、千葉市内の事業所を含む範囲で登録していることが確認できる資料を添付してください。(添付資料により千葉市内の事業所が含まれていることが確認できなければ評価しません。)
- 災害時事業継続計画については、本市での事前審査による認定を受ける必要があります。その場合は認定証の写しを添付してください。
- 建設共同企業体による共同施工の場合は、構成員ごとに本書を提出してください。
- 基礎点制度実績通知書の交付を受けた場合は、技術提案等提出書(別記様式第1号)に基礎点制度実績通知書の写しを添付することにより、本書の提出は不要です。
- 実績がない場合は、本書の提出は不要です。

<書類不備となる主な事例> ※書類不備となる事例はこの限りではありません。

- 記入すべき事項が未記入又は誤記である。
- 添付資料がない。又は、添付資料により評価基準を満たしていることが確認できない。
- 基礎点制度実績通知書の写しが添付されているにもかかわらず、本書が提出されている。

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前	P.61
<p>別記様式第14号【技術提案】</p> <p><作成上の留意点></p> <p>○本書は、標準型の場合に使用します。</p> <p>○「具体的な提案内容」の欄は、実施要領書に定める「具体的な提案内容」をそのまま記入してください。</p> <p>○提出可能な枚数の上限は、実施要領書に定めております。 「枚数が2枚まで」と定められており、2枚提出する場合は、左記のとおりページ番号を記入してください。 (例. 指定枚数2枚の場合 → 1枚目：1/2 2枚目：2/2)</p> <p>○「具体的な技術提案」の欄は、実施要領書に定める「詳細内容」をそのまま記入し、次行から文書を記入して下さい。</p> <p>○「具体的な技術提案」の欄に記入する文書のフォントは、MS明朝、大きさは、11ポイントとし、全ての文字を全角で記入してください。(単位等で半角となる場合は、書類不備とはしません。) また、強調部に限り、MSゴシックを使用できますが、下線の使用はできません。</p> <p>○落札者決定基準において、複数の技術提案を求めることがあります。その場合、技術提案ごとに提出可能な枚数の上限を定めておりますので、技術提案ごとに定められた枚数の範囲内で提出してください。</p> <p>○提案の記載方法は、箇条書きとし、箇条書きされた項目ごとに評価します。よって、一つの項目で二つの評価ができるような場合においても、評価ポイントは1ポイントとなります。 評価する場合の例 1) ○○を実施します。 2) △△を実施し、かつ、□□も実施します。 > どちらも評価は1ポイントとなります。 (△△と□□を両方実施してはじめて評価できる内容の場合)</p> <p>評価しない場合の例 1) ××を実施し、かつ、◎◎も実施します。 (××と◎◎が個別には評価できる内容であっても、相互に関連性のない場合)</p> <p>○建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は、建設共同企業体名を記入してください。</p> <p><書類不備となる主な事例> ※書類不備となる事例はこの限りではありません。</p> <p>○記入すべき事項が未記入又は誤記である。</p> <p>○提出枚数が指定枚数を超えている。</p> <p>○共通仕様書、施工管理基準及び特記仕様書等において千葉市が定める基準を満たしていない。</p> <p>○「具体的な技術提案」の文書が定められたフォント又は大きさではない。</p> <p>○建設共同企業体名で提出となっているにも関わらず、建設共同企業体名となっていない、又は構成員ごとに本書が提出されている。</p> <p><欠格となる主な事例> ※欠格となる事例はこの限りではありません。</p> <p>○本書が未提出である。</p> <p>○「具体的な提案内容」と明らかに違う提案がなされている。</p>	

改正後	P.61
<p>別記様式第14号【技術提案】</p> <p><作成上の留意点></p> <p>○本書は、標準型の場合に使用します。</p> <p>○「具体的な提案内容」の欄は、実施要領書に定める「具体的な提案内容」をそのまま記入してください。</p> <p>○提出可能な枚数の上限は、実施要領書に定めております。 「枚数が2枚まで」と定められており、2枚提出する場合は、左記のとおりページ番号を記入してください。 (例. 指定枚数2枚の場合 → 1枚目：1/2 2枚目：2/2)</p> <p>○「具体的な技術提案」の欄は、実施要領書に定める「詳細内容」をそのまま記入し、次行から文書を記入して下さい。</p> <p>○「具体的な技術提案」の欄に記入する文書のフォントは、MS明朝、大きさは、11ポイントとし、全ての文字を全角で記入してください。(単位等で半角となる場合は、書類不備とはしません。)てください。 また、強調部に限り、MSゴシックを使用できますが、下線の使用はできません。</p> <p>○落札者決定基準において、複数の技術提案を求めることがあります。その場合、技術提案ごとに提出可能な枚数の上限を定めておりますので、技術提案ごとに定められた枚数の範囲内で提出してください。</p> <p>○提案の記載方法は、箇条書きとし、箇条書きされた項目ごとに評価します。よって、一つの項目で二つの評価ができるような場合においても、評価ポイントは1ポイントとなります。 評価する場合の例 1) ○○を実施します。 2) △△を実施し、かつ、□□も実施します。 > どちらも評価は1ポイントとなります。 (△△と□□を両方実施してはじめて評価できる内容の場合)</p> <p>評価しない場合の例 1) ××を実施し、かつ、◎◎も実施します。 (××と◎◎が個別には評価できる内容であっても、相互に関連性のない場合)</p> <p>○建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は、建設共同企業体名を記入してください。</p> <p><書類不備となる主な事例> ※書類不備となる事例はこの限りではありません。</p> <p>○記入すべき事項が未記入又は誤記である。</p> <p>○提出枚数が指定枚数を超えている。</p> <p>○共通仕様書、施工管理基準及び特記仕様書等において千葉市が定める基準を満たしていない。</p> <p>○「具体的な技術提案」の文書が定められたフォント又は大きさではない。</p> <p>○建設共同企業体名で提出となっているにも関わらず、建設共同企業体名となっていない、又は構成員ごとに本書が提出されている。</p> <p><欠格となる主な事例> ※欠格となる事例はこの限りではありません。</p> <p>○本書が未提出である。</p> <p>○「具体的な提案内容」と明らかに違う提案がなされている。</p>	

千葉県総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.64

改正後

P.64

記入例

別記様式第16号

建設共同企業体による共同施工の場合は、建設共同企業体名を記入してください。

ICT活用工事等の取組状況

工事名 千葉市役所前〇〇〇工事 (29-1工区)

(建設共同企業体による共同施工の場合は、建設共同企業体名を記入すること。)

商号又は名称 千葉建設・〇〇建設共同企業体

ICT活用工事等の取組状況	本工事において、
	<input type="checkbox"/> ICT活用工事 <input checked="" type="checkbox"/> 情報化施工
	該当する箇所を■に塗りつぶしてください。 情報化施工を実施する場合は、実施する工種、活用技術、使用するICT建機を記載して下さい。
情報化施工を実施する工種、情報化施工活用技術及び使用するICT建機	
情報化施工を実施する工種	舗装工
実施工種における活用技術	ローラの軌跡管理による面的な品質管理技術 (締りめ)
使用するICT建機	振動ローラ

(注)

- ICT活用工事等の対象として発注された工事で、ICTを活用する場合に評価するものとする。
- ICT活用工事とは、千葉県ICT活用工事実施要領(試行)第2に規定された、全ての施工プロセスの各段階においてICTを全面的に活用する工事とする。
- 情報化施工とは、ICTを活用したマシンコントロール技術、マシンガイダンス技術を用いた建設機械による施工とする。
- 情報化施工を実施する場合は、実施する工種、当該工種における活用技術及び使用するICT建機を記入すること。(ICT活用工事を実施する場合は記入不要。)
- 建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は、建設共同企業体名を記入すること。
- 本書に係る添付資料は一切不要である。
- ICTを活用しない場合は、本書の提出を要しない。

(用紙 A4)

千葉市総合評価落札方式ガイドライン 新旧対照表

改正前

P.65

改正後

P.65

別記様式第16号【ICT活用工事等の取組状況】

<作成上の留意点>

- ICT活用工事等の対象として発注された工事で、ICTを活用する場合に評価します。
- ICT活用工事とは、千葉市ICT活用工事実施要領（試行）第2に規定された、全ての施工プロセスの各段階においてICTを全面的に活用する工事とします。
- 情報化施工とは、ICTを活用したマシンコントロール技術、マシンガイダンス技術を用いた建設機械による施工とします。
- 情報化施工を実施する場合は、実施する工種、当該工種における活用技術及び使用するICT建機を記入してください。
（ICT活用工事を実施する場合は記入不要です。）
- 本書は、建設共同企業体による共同施工の場合、建設共同企業体として提出することとし、「商号又は名称」の欄は、建設共同企業体名を記入してください。
- 本書に係る添付資料は一切不要です。
- ICTを活用しない場合は、本書の提出は不要です。

<書類不備となる主な事例> ※書類不備となる事例はこの限りではありません。

- 「工事名」又は「商号又は名称」が正しく記入されていない。
- 添付資料を求めているにもかかわらず、添付資料がついている。
- 建設共同企業体名で提出となっているにもかかわらず、建設共同企業体名となっていない、又は構成員ごとに本書が提出されている。